

令和4年度（相模原中央支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上 (法令の遵守、服務規律の徹底)	職員一人ひとりが、常に公務員としての自覚を持ち、規律を守って適切な行動をする	不祥事防止研修会を機会として、事例や法規の確認をすることで、職員の意識向上を図ることで、大きな事故なく過ごすことができた。
職場のハラスメント (パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止	職員間において、立場や役職に関わらず、相手の人権を尊重する言動を心がけるとともに、お互いに意見しあえる同僚性の構築に努める	不祥事防止研修会等を通して、意識の向上を図ったが、当事者の認識による案件が発生した。今後は多角的な情報収集の重要性を伝える等工夫を重ねていく必要がある。
幼児・児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	幼児・児童・生徒の人権を守るために研修をとおして、わいせつ・セクハラ行為を防止する	不祥事防止研修で取り扱うことで、個々の職員が自分事として捉えることができた。
体罰、不適切な指導の防止	幼児・児童・生徒の人権を尊重し、障害特性や行動特性に応じた指導に努めることで体罰や不適切指導を未然に防止する	不祥事防止研修会等を実施し、人権意識を高めるとともに教員間での共通理解を進めてきたが、充分な成果を上げることはできなかった。今後は取り組みの見直しを図り、改善を進めていく必要がある。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	個別教育計画や進路関係書類、入学選抜に関する書類等を適切に管理することで、事故防止を図る	個別教育計画等の持ち出しルールの徹底を維持することで、事故なく管理することができた。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報保護及び情報セキュリティへの理解を深め、情報の流れを把握して、個人情報の流出等に係る不祥事を防止する	手続きを見直すことで、個人情報持ち出しの際のルールをさらに遵守することができた。また、記憶媒体の持ち出しについても日々確認を継続することで不祥事を防止することができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、酒酔い、酒気帯び運転の根絶を図るとともに、通勤・出張における運転だけでなく、私的な運転についても意識を高める	不祥事防止研修会を通して、事例を共有することで軽微な違反もしないという高いコンプライアンス意識を持つことができた。
業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	法令・要綱・マニュアル等諸規程に基づき、日常点検や相互チェックを行ない適正に業務を遂行する	要綱やマニュアルの見直しと整理を行うとともにダブルチェック等複数による点検を行うことで適正に業務遂行することができた。
財務事務等の適正執行	私費会計について、現金での扱いを極力なくし、適正な執行により、会計に係る不祥事を防止する	会計担当者による確認と、私費会計の執行ルールを遵守してきたが、就学奨励費にかかる誤支給が発生した。チェック体制を整えることで改善を図りたい。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

令和4年度、私費会計については事故なく進められたが、就学奨励費については誤支給が起きてしまった。チェック体制の見直しで改善を図りたい。体罰、不適切な指導の防止について、これまでの取り組みに加え、教職員への研修方法や内容の見直しにより教職員一人ひとりの人権意識の向上を図ることで、子どもたちの安全安心な学習の保障と保護者に信頼される学校運営を進めていきたい。